

# 平成25年度事業報告

(目次)

I	総括	2 頁
II	各事業の概要	
1	産業企画推進室事業	3 頁
2	中小企業支援センター事業	5 頁
3	エレクトロニクスセンター事業	7 頁
4	インタークロス・クリエイティブ・センター事業	9 頁
III	事業実績一覧	12 頁

## I 総括

平成 25 年度当財団は、「産業振興センター（産業企画推進室）」「中小企業支援センター」「エレクトロニクスセンター」及び「インタークロス・クリエイティブ・センター（I C C）」の 4 カ所の拠点において、情報関連産業の振興はもとより、中小企業支援法に基づく指定法人及び中小企業新事業活動促進法に基づく中核的支援機関として、広く中小企業の支援を行い、活力ある地域経済の発展に寄与した。25 年度は、特に以下の事業について重点的に取組を行った。

エレクトロニクスセンターにおいては、食・バイオ関連企業の入居が可能となるウェットラボ仕様への一部改修が 11 月末に完了した。残念ながら現時点までで、食・バイオ関連企業の入居には至っていないが、ウェットラボへの入居募集 P R を精力的に実施するとともに、I T 企業と食・バイオ企業との連携による新たなビジネス創出を促すため、セミナーや交流会を実施した。

次に、23 年 12 月に指定を受けた札幌コンテンツ特区推進に係る取組については、札幌市の受託事業のほか、国からの財政支援を活用し、アジア各国において、札幌・北海道の情報（観光、産業、生活等）が継続的に露出され、その効果を観光や貿易等の他産業に波及させることを目的として行ったほか、特区通訳案内士制度に係る研修や映像の国際共同制作、国際共同流通、国際共同人材育成を推進する事業を実施した。

さらに、I C C については、これまでデジタルコンテンツ産業におけるクリエイターのインキュベーション施設として、入居者を中心に支援を行ってきたが、24 年度末の札幌市産業振興センターへの移転に伴い、コンテンツ産業及びコンテンツを活用する他産業の振興拠点として、新しいビジネスモデルの構築を積極的に支援することとした。

この他、北海道内の 1 次産業者と、札幌市を中心とする 2 次・3 次産業者の連携を促進して 6 次産業化を推進し、道内の農水畜産物資源の高付加価値化を進めるとともに、食関連産業の振興を図ることを目的としたコーディネートやマッチングイベント等を開催した。

## Ⅱ 各事業の概要

### 1 産業企画推進室事業

○支出決算額 89,416千円

#### (1) 中小企業ネットワーク構築・推進事業、道内連携マッチング事業及び6次産業活性化推進補助事業

札幌の主たる産業分野である食品関連にスポットを当て、中小企業からの要望に個別に対応しつつ、企業訪問から得た現場の生の声を通じて課題を把握し、札幌市に政策提言を行うべく、フォーラム等のイベントを開催するとともに、共同物流に係る調査研究や、「さっぽろスイーツカフェ（平成21年度開設）」の運営支援を引き続き行った。

また、市内食品関連企業やものづくり企業等への訪問を通じて、関係機関の支援メニューやイベント、個別企業の紹介を行った。

さらに、道内の一次産品を、原材料として供給する形態から、付加価値を付けた商品として開発する形態への構造転換（6次産業化）を図るため、産業企画推進室内に配置した道内連携コーディネーターが、道内の一次生産者や協同組合、大学の研究機関等を訪問し、連携を構築したほか、企業訪問等により抽出した課題を踏まえ、マッチング等のイベント開催や展示商談会への出展アテンドを行うとともに、1次生産者と2次・3次産業者が連携して新商品開発等を行う取り組みに対する補助を実施し、商品化へ向けた支援を行った。

この他、10都市連携マッチングサイト「つながるネット」の構築・運営を行うとともに、市内に点在するビジネス情報をまとめて発信する総合ポータルサイト「さっぽろ産業ポータル」の運営を引き続き実施したほか、産業ポータルのメールマガジン（週2回発行）については、登録者数2,400名を超え、記事掲載件数1,800件以上と産業情報に関する市内有数のメールマガジンとなっている。

#### ◆事業実績

- ・経済界フォーラム：1回、市長と語ろう会：2回
- ・企業訪問：1,638社、延べ2,554回、企業訪問によるコーディネート実績：118件
- ・道内の一次生産者や協同組合、大学の研究機関等訪問：181回
- ・食品と機械の集い（食品加工業者とものづくり企業との出会いの場を創出するためのセミナー）：参加103社・179名、商談28件
- ・6次化イベント（ものづくり支援・販売支援のための展示相談会）：出展17社、参加110社・200名、商談29件

- ・展示商談会出展アテンド  
アグリフード EXPO（東京）：出展 3 社、商談 100 件  
北海道フードフェア：出展 5 社、商談 167 件
- ・ 6 次産業活性化のための補助：3 件採択
- ・ポータルサイトアクセス数：152 万件（前年比 1.45 倍）

## (2) アジア圏等経済交流促進事業及び東アジア輸出実践事業

道内経済の活性化を図るためには、道内企業の海外展開へのサポートや道内企業が主導する商流・物流体制の構築が重要となるため、産業企画推進室内に設置した「輸出推進チーム」が貿易実務等の指導、現地バイヤー及び輸入商社等の情報収集、輸出可能商材発掘等を行い、民間企業の海外進出へのきめ細かなサポートを実施したほか、道内の港湾や空港からの直接輸出増加へ向けた海外流通している道産品の貨物流動実態調査等を行った。

### ◆事業実績

- ・貿易関連相談件数：200 件
- ・以下の商談サポートによる輸出額：180,000 千円  
海外バイヤーに対する道内サプライヤー個別マッチング：延べ 35 件  
海外高級スーパー北海道フェアにおける支援：50 社  
欧州向け商品開発におけるパッケージ作成サポート：1 件

## (3) ベンチャー支援事業

市内で創業間もない企業や創業を目指す起業家から 3 件を選定し（応募 11 件）、24 年度に選定した 3 件とともに、事業を軌道に乗せるために必要な経営面や販路拡大等に関してハンズオン支援を行った。

さらに、同事業の支援期間が終了した 36 社を対象に、支援メニューの紹介等を行うフォローアップ訪問を実施した。

### ◆事業実績

- ・平成 16 年度以降の累計支援社数：40 社  
（うち創業時と比較し売上が倍増した企業数：21 社）

## (4) 北大ビジネスインキュベーション支援事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構が平成 20 年 12 月に設置した大学連携型起業家育成施設である北大ビジネス・スプリング（入居企業 16 社、入居率 68.5%）にインキュベーションマネージャーを 1 名派遣し、当該施設の入居企業に対する販路拡大などの支援業務等を行った。

### ◆事業実績

- ・経営アドバイス：500 回、マッチング 40 件

## (5) デザイン活用型製品開発支援事業

市内ものづくり企業の製品開発力、競争力強化を図るため、ものづくりにおける「デザイン戦略」の普及啓発や「デザイン戦略」を活用した製品開発のための支援を行った。

### ◆事業実績

- ・ものづくりセミナー：1回
- ・ものづくり道場：2回
- ・製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：2社

## (6) 産業振興センター管理運営準備事業

平成26年度当初から産業振興センターの指定管理業務を円滑に行うことができるよう、前指定管理者からの引継ぎ等の準備業務を行った。

## 2 中小企業支援センター事業

○支出決算額 37,577千円

### (1) 中小企業支援センター事業

#### ① 窓口相談

迅速かつ的確な相談に対応するため、経済センタービルに金融アドバイザー及び金融相談員を配置するとともに、応援コーディネーターによる経営アドバイスをを行った。

### ◆事業実績

- ・経営・融資相談件数4,845件（うち、窓口相談：1,799件、電話相談：2,497件、インターネット相談：387件、その他：162件）

#### ② 融資斡旋・経営支援

金融相談員が「創業・雇用創出支援資金」をはじめ、札幌市融資制度全般のご相談にあたり融資斡旋を行ったほか、各種融資制度に関する助言や他機関との調整等を通じて、中小企業の経営支援を行った。

### ◆事業実績

- ・創業・雇用創出支援資金斡旋件数：167件

#### ③ 創業資金事後フォローアップ事業

創業資金を利用した企業に対し金融相談員及び中小企業診断士である応援コーディネーターが訪問し、企業が抱える経営課題に適切なアドバイス・助言を行い、さらに適宜アドバイザー・専門家派遣等を積極的に行うことにより問題解決を図った。

### ◆事業実績

・訪問企業：162社

④ 中小企業アドバイザー事業

中小企業者が抱える販路開拓や経営戦略、経理・事業計画等の様々な問題の解決のため、各分野における知識や経験豊富な人材をアドバイザーとして登録活用し、企業の経営力等の向上を図った。

◆事業実績

・アドバイザー登録：57名、派遣：延べ65回、派遣企業：23社

⑤ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】

中小企業・小規模事業者の抱える高度専門化している課題について、国との協力事業である専門家派遣に積極的に応じてきた。

◆事業実績

・専門家派遣：14社（延べ20回）、地域プラットフォーム連携会議：4回

⑥ 中小企業支援機関ネットワーク構築事業

市内の中小企業支援機関（23機関が参画）による連携体制を構築し、各支援機関が有する支援メニュー等を集約するとともに、市内中小企業に支援情報を冊子やホームページ等により一元的に発信した。

◆事業実績

・中小企業支援機関連絡会議：4回、支援メニュー窓口相談：141件、支援メニュー活用セミナー：3件

(2) 商圈分析事業

中小企業者や創業者が市場調査や営業活動を行う際に必要となる、地図データと各種統計データを統合した商圈分析システム「出店くん」による情報提供を行ったほか、企業が自らの経営状態を把握する際に有効な「企業ドック診断（経営診断）」を実施した。

◆事業実績

・商圈分析システム利用：61社、企業ドック診断利用：116件

(3) 若年層雇用安定助成金受付窓口事業

若年層求職者の雇用の安定化を推進するため、一定の基準を満たした企業に対し札幌市が助成金を交付する制度の受付事務及び定着支援のための事業を実施した。

◆事業実績

・雇用：132名

(4) 中央卸売市場仲卸経営支援事業

札幌市中央卸売市場に登録されている仲卸業者（約60社）の経営体質の

強化と健全化を図るため、問題解決に必要な助言・指導を行った。

◆事業実績

- ・個別経営相談：4社

(本事業は25年度末をもって中止)

(5) 元気ショップ調査業務事業

地下鉄東西線大通コンコースに設置している元気ショップを大通交流拠点地下広場の民間テナント予定部分に移転させた場合の影響を予測するため調査を行った。

(本事業は25年度をもって業務終了)

3 エレクトロニクスセンター事業

○支出決算額 350,025千円

(1) エレクトロニクスセンター管理運営事業

IT産業支援の拠点施設であるエレクトロニクスセンターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

(2) 技術開発室支援事業

エレクトロニクスセンターにおいて、良好な研究開発環境の提供を行った。

◆事業実績

- ・年度末入居率 38.6%

(3) 札幌テクノパーク・リノベーション推進事業

従来のIT関連企業に加えて食・バイオ関連企業の入居を可能とすることで、既存のIT企業と食・バイオ関連企業との連携による新たなビジネスの創出を促すなどして、経済の活性化を図ることを目的として、エレクトロニクスセンターの2階部分をウェットラボ仕様（液体を扱うことのできる研究・実験室）への改修を実施、25年11月末に完成した。

(4) SaaS・クラウド活用促進事業

情報通信産業における社会・産業構造の変化に先行的に対応するため、札幌イノベーションセンターに整備している公共SaaS・クラウド基盤を活用し、市内IT企業にクラウドサービスの検証・実証の環境を提供した。また、実践的なプログラミング研修等の技術研修を開催したほか、設備の維持管理・運営を実施した。

◆事業実績

- ・SaaS・クラウドのテスト環境の提供等：6件、実践的な技術研修：8件

## (5) IT企業高度化推進事業

市内IT企業の協業化（JV）等による大型開発案件の獲得を目的に、札幌市の新基幹システムの開発にも採用されている、(独)産業技術総合研究所が策定した情報システム開発のための包括的な枠組「産総研包括フレームワーク」の技術を市内IT企業へ移転するために、実践的な研修を行った。

また、札幌市以外の自治体を対象に、札幌版包括フレームワークの取組を紹介するセミナーを開催した。

このほか、クラウド・コンピューティングに関する技術研修、ビジネス化成功事例研究、開発技術者育成の研修等を行い、札幌地場IT企業のクラウドビジネスの推進を支援した。

### ◆事業実績

- ・フレームワーク研修：3カリキュラム、延べ170名参加
- ・上記研修参加企業による札幌市基幹システム開発業務受注実績：5業務、延べ7社受注、受注額約1,466百万円
- ・自治体向け包括フレームワークセミナー：27団体43名（内自治体:8）
- ・札幌市 SaaS・クラウドビジネス研究会、札幌クラウドセミナー、Java フェスタ、サッポロクリエイティブキャンプ等参加者：858名

## (6) IT利活用ビジネス拡大事業

札幌市内のIT関連企業の営業力・提案力を強化し、食、観光、環境、健康・福祉分野等とのビジネス関係を構築することを目的して、リーディングカンパニーの候補となる企業8社を選定し、研修会を開催した。

また、市内中小企業を対象とした補助制度「IT利活用促進事業費補助金」を創設し、ITを活用する側の企業のIT投資の支援を行うほか、ウェットラボへの入居の対象となる食・バイオ関連企業なども対象に、ビジネスマッチング（交流会）やITの利活用に関するセミナーを開催した。

IT利活用促進の一環として、IT企業とバイオ企業との連携を進めるために市内バイオ企業9社の訪問調査を行い、IT企業によるバイオ企業2社の視察会と、交流会（マッチング）とを開催した。

その他、地場IT企業育成やマッチングの際の基礎情報となる「さっぽろ企業情報提供センター」のWebサイトを運営し、インターネットを経由して札幌のIT企業の持つ製品やサービスの情報について提供を行った。

### ◆事業実績

- ・企画提案型営業力強化研修会：12回実施、延べ126人が受講
- ・IT利活用促進事業費補助金：5件採択（応募27件）



- ・IT利活用に関するセミナー・交流会：延べ350人以上が参加
- ・IT×バイオ連携に関する視察会と交流会 各2回：IT企業10社が参加

#### (7) ITビジネスプランコンテスト事業

札幌市が実施した「さっぽろ学生ITアイデアコンテスト」の受賞アイデアについて、市内IT企業による製品化を支援する補助事業の公募を行った。結果、1件を採択し、札幌市内のアート作品を巡る散策コースを紹介するアプリが実現化された。

##### ◆事業実績

- ・さっぽろ学生ITアイデアコンテスト実現化補助金：1件、100万円

### 4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業

○支出決算額 234,572千円

#### (1) ICC施設管理運営事業

ICCは平成25年4月に札幌市産業振興センターに移転したが、これまで蓄積したクリエイター等の支援のノウハウを最大限に活用し、従来のインキュベーションの拠点施設から、プロジェクト（事業）の創出拠点施設として、新規プロジェクトをICCにて推進。1階情報発信スペースについては、コンテンツ産業に係る多くの方の利用を促し、新たなコンテンツ産業に関するプロジェクト（事業）創出につなげるための支援を行うため、イベントを主催し、且つ同目的と認めたイベントについて共催、協力を行った。

##### ◆事業実績

- ・クリエイティブルーム使用率：80%（全12室、空き2室）、
- ・クロスガーデン利用者数：3,138人/年（月平均262名）
- ・短編映画祭視聴者数：41人/年
- ・クロスラボ利用者数：107人/年
- ・イベント参加者数：2,410人/年
- ・ホームページアクセス数：28万件/年
- ・プロジェクト登録数：41プロジェクト
- ・ICCオープニングイベント来場者：170名
- ・クリエイティブワークショップ：3回、延116名
- ・プロジェクトミーティング：3回、延179名
- ・プロジェクトイベント：28回、延1,183名
- ・共催イベント：20回、延663名
- ・コンテンツ産業と他産業協業促進イベント：2回、延148名

#### (2) コンテンツ人材育成事業

市内のコンテンツ産業の継続的な発展及び底上げを目的とした人材育成として、映像等の制作に必要な機材を、低廉で良好な環境で提供するデジタル工房の運営のほか、若手クリエイター等の制作技術の向上及び幅広い情報発信の場を設けることで、若手クリエイター等の「クリエイティブ・スキル」と「ビジネス・スキル」の向上に資する事業を実施した。

◆事業実績

- ・デジタル工房稼働率 53%
- ・デジタル工房ワークショップ（4回）延 60 名

① ムービースケッチ事業

札幌の場所にまつわるエピソードを市民から公募し、その素材をもとに「映像クリエイター」の公募を実施した。

◆事業実績

- ・応募者 10 名、映像制作数：3 本（映像制作助成金）

② クロスガーデンオンライン事業

ICC や市内クリエイターの紹介、クリエイターと他産業との接触機会を積極的に作り上げるため、ICC オリジナル番組を制作し、動画配信サイト等での配信をすると共に、在札放送局と連携し同番組の地上波放送も行った。

◆事業実績

- ・ICC オリジナル番組：2 本

③ プレ ICC 事業

札幌市内の学生、OB を中心とするクリエイティブイベントに対する支援を行った。

◆事業実績

- ・札幌アートディレクターズクラブ（SADC）、札幌メディア・アート・フォーラム運営委員会（SMF）への支援。

(3) さっぽろコンテンツマーケット創出事業

さっぽろコンテンツマーケット支援システム「スポットライツ」に係るサーバ等機器のリース期間が満了となることから、今後の映画祭の運営に必要な作品募集、審査、広報等の機能を存続させた新システム「札幌国際短編映画祭支援システム」を再構築し、安定的に運用、保守等を行うことで映画祭の運営を支援した。

◆事業実績

- ・スポットライツ登録数：映画製作者 15,764 人、作品：24,141 本（うちス

ポットライツで閲覧可能な作品：17,812本)

#### (4) コンテンツ特区推進事業・コンテンツ産業強化対策支援事業

アジア各国において、札幌・北海道の情報（観光、産業、生活等）が継続的に露出され、その効果が観光や貿易等の他産業に資するよう、映像振興機関等との連携強化を図り、映像コンテンツの国際共同制作、相互流通を促進するため国際映像商談会への出展等を積極的に実施した。

主の事業として、アジア各国及び国内の映像関係者とのネットワークを活用し、昨年度から引き続き大型イベントとして「RE：J」ワークショップ及び香港を開催した。この「RE：J」ワークショップでは、札幌にアジア13カ国・1地域から若手映像関係者を招聘し、将来の国際共同制作の創出を促進するためにワークショップを開催した。

また、「RE：J」香港においては北海道を含む国内12道府県の自治体等と連携し、45のTV局等のコンテンツホルダーと、アジア最大のフィルムマーケットである香港フィルマートに共同出展をした。世界各国のバイヤーに対して、地域発コンテンツの魅力を効果的に発信することが出来た。

さらに、札幌コンテンツ特区における特例として、映像作品のプロモーション効果を観光客の誘致にもつなげるために、研修の受講等で資格を取得できる「札幌特区通訳案内士」の制度を創設し、各種研修を実施した。

#### ◆事業実績

- ・国際映像商談会出展：国内1都市（東京） 海外4都市（マニラ、釜山、シンガポール、香港（RE：J香港））
- ・「RE：J」ワークショップ（札幌） 若手映像関係者参加者：13カ国、1地域から25名
- ・「RE：J」香港 参加者：12の道府県から45コンテンツホルダー
- ・商談件数：106件（北海道地域の件数：※全体件数は集計中）
- ・特区通訳案内士：登録者数 49名（英語32名、中国語11名、韓国語5名、タイ語1名）

所管	事業名	支出決算額 (千円)	平成25年度		平成26年度		今後（概ね5年間）、目指すべき方向性
			事業実績	課題	事業計画	事業目標	
産業企画推進室		89,416					
	中小企業ネットワーク構築・推進事業【札幌市補助事業】	23,012	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長と語ろう会：2回/年</li> <li>経済界フォーラム：1回/年</li> <li>企業訪問件数：1,638件/年</li> <li>企業訪問によるコーディネート：118件/年</li> <li>市外農水産業者・協同組合・大学等研究機関への訪問件数：181回/年</li> <li>マッチングイベント開催：2回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネート機能の強化</li> <li>北海道内都市経済活性化会議（10都市会議）における連携の機能・体制を活用した全道の取り組みの拡大</li> <li>一次産品を「原料」として供給する形態から、付加価値をつけた「商品」として製造・販売する形態への構造転換（付加価値率の向上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業・団体とのネットワークの構築による実効的な中小企業支援施策の立案とコーディネート機能の実践</li> <li>市長と語ろう会及び札幌市経済界フォーラムの開催</li> <li>さっぽろスイーツカフェの支援</li> <li>ものづくり及び道内連携コーディネーターの配置による市内ものづくり企業と道内1次生産者とのネットワークの構築</li> <li>マッチングイベント（市内ものづくり企業と道内1次生産者等）の開催</li> <li>WEBサイト「さっぽろ産業ポータル」及び10都市連携マッチングサイト「つながるネット」の運営</li> <li>道内1次産業者と市内2次3次産業者との連携による新商品開発の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長と語ろう会：3回/年</li> <li>経済界フォーラム：1回/年</li> <li>市内食関連企業・市外農水産業者・協同組合・大学等研究機関等への訪問によるマッチング件数：50件/年</li> <li>マッチングイベント開催：2回/年</li> <li>展示商談会出展アテンド：2回/年</li> <li>6次産業活性化のための補助：5件採択/年</li> <li>さっぽろ産業ポータルアクセス数：140万/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品加工業の成長・拡大と地元企業による輸出を含めた販売力強化</li> <li>道内食品産業の付加価値の拡大</li> <li>さっぽろスイーツのさらなるブランド化</li> <li>市内ものづくり企業の販路拡大</li> </ul>
	道内連携マッチング事業【札幌市補助事業】	10,496	<ul style="list-style-type: none"> <li>（食品と機械の集い）商談28件、6次化イベント：商談29件</li> <li>展示商談会出展アテンド：2回/年（アグリフードEXPO：商談100件、北海道フードフェア：商談167件）</li> <li>6次産業活性化のための補助：3件採択/年</li> <li>さっぽろ産業ポータルアクセス数：152万/年</li> </ul>				
	6次産業活性化推進補助事業【札幌市補助事業】	10,600					
	アジア圏等経済交流促進事業【札幌市補助事業】	16,678	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易関連相談件数：200件/年</li> <li>商談サポートによる輸出額：180,000千円</li> <li>道内の港湾や空港からの直接輸出増加へ向けた、海外で流通している道産品の貨物流動実態調査等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本州商社による本州港からの輸出が大半を占める道産食品の輸出について、道内商社による道内港からの輸出体制の構築</li> <li>「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）」との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道内商社への支援</li> <li>オール北海道での道産品輸出の推進・促進</li> <li>東南アジアにおける道産食品の輸出活性化に向けた側面支援（道内企業とインポーター、エクスポーター、物流会社、通関業者等のコーディネート及び道内関係機関との連携による魅力ある商材の掘り起し、商談会、物産展などのプロモーション補助など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貿易関連相談件数：220件/年</li> <li>商談サポートによる輸出額：200,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道産食品の東南アジアでの販路拡大、ブランド力の向上</li> <li>道産食品輸出の商流を道内企業が担うことによる道内経済活性化</li> </ul>
	東アジア輸出実践事業【札幌市補助事業】	1,160			事業廃止	-	-
	ベンチャー支援事業【札幌市補助事業】	18,929	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続3社（H24年度～）と新規3社のベンチャー企業へのハンスオン支援</li> <li>創業時より売上が倍増した累計企業数：21社（支援累計企業数40社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後のベンチャー企業へのフォローアップ体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規予定3社と継続予定3社（H25年度～）のベンチャー企業へのハンスオン支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業時より売上が倍増した累計企業数：23社（支援予定累計企業数43社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野でオンリーワン企業としての存在感の発揮</li> </ul>
	北大ビジネスインキュベーション支援事業【札幌市受託事業】	4,209	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営アドバイス件数：500件/年</li> <li>マッチング件数：40件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな入居企業の発掘・選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開設当初より継続しているインキュベーションマネージャー1名の派遣による施設入居企業に対する経営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営アドバイス件数：500件/年</li> <li>マッチング件数：40件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居企業の成長による札幌バイオ産業発展のエンジン機能の発揮</li> </ul>
	デザイン活用型製品開発支援事業【札幌市補助事業】	2,295	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりセミナー：1回/年</li> <li>ものづくり道場：2回/年</li> <li>製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：2社/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市ものづくり企業において不足している、顧客の求めるニーズに対応する「企画力」「販売力」「ブランド力」の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりに関する「デザイン戦略」活用の普及啓発</li> <li>専門家等による製品開発から販売戦略までの一貫的な支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりセミナー：1回/年</li> <li>ものづくり道場：2回/年</li> <li>製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：3社/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業における製品開発力や競争力の強化による本市の「ものづくり産業」の振興</li> </ul>
	産業振興センター管理運営準備事業	2,037	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度からの指定管理業務開始に向けた準備</li> </ul>	-	-	-	-
	産業振興センター施設管理運営事業【札幌市受託事業】	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナールーム等利用促進のためのPR</li> <li>スタートアッププロジェクトルーム入居者の発掘及び入居者への経営相談等支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナールームの稼働率：70%以上</li> <li>スタートアッププロジェクトルーム入居率：90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌の産業振興拠点としての機能発揮</li> <li>地域を代表するような企業の輩出</li> </ul>
	中小企業経営セミナー等事業【札幌市補助事業】	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業者向けセミナー、経営者向けセミナー等の開催</li> <li>起業道場（6コマで1シリーズ完結）の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業者向けセミナー：15回/年</li> <li>起業道場：4回/年</li> <li>経営者向けセミナー等：24回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業活動を支える人材の育成による企業経営力の強化</li> <li>創業及び新たな事業分野への進出の促進</li> </ul>
中小企業支援センター		37,577					
	中小企業支援センター事業【札幌市受託事業】	35,293	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営診断（企業ドック診断）：116件/年</li> <li>アドバイザー派遣：65件（企業数23社）/年</li> <li>企業訪問による事後フォローアップ：162社/年</li> <li>融資あっせん受付件数：167件/年</li> <li>経営・融資相談件数：4,845件/年</li> <li>支援メニュー窓口相談：141件/年</li> <li>支援メニュー活用セミナー：3回/年</li> <li>中小企業支援機関連絡会議：4回/年</li> <li>中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】専門家派遣：14社（20日）/年、地域プラットフォーム連携会議：4回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業資金等融資実行企業に対する事後フォローアップの徹底</li> <li>融資枠以外の経営支援の充実</li> <li>各支援機関とのネットワークの構築及び相談体制の強化</li> <li>専門相談員のスキルアップ</li> <li>国の制度の積極的な活用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営診断（企業ドック診断）による財務データの提供</li> <li>中小企業が抱える経営課題解決に向けたアドバイザー派遣</li> <li>創業資金等の事後フォローアップによる継続的な支援体制の構築</li> <li>経営相談窓口による経営支援の強化、各種制度融資の活用に関する提案</li> <li>創業支援資金等の適切な相談・融資受付</li> <li>産業競争力強化法に基づく創業相談及び市内支援機関と連携した創業支援</li> <li>市内支援機関が有する支援メニューの集約による一元的な情報発信</li> <li>中小企業支援機関連絡会議の開催</li> <li>中小企業・小規模事業者が抱える高度な経営課題・相談に対応するため、専門家の派遣及び窓口相談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営診断（企業ドック診断）：150件/年</li> <li>アドバイザー派遣：85件（企業数28社）/年</li> <li>企業訪問による事後フォローアップ：150社/年</li> <li>融資あっせん受付件数：200件/年</li> <li>経営・融資相談件数：5,000件/年</li> <li>支援メニュー窓口相談：50件/年</li> <li>支援メニュー活用セミナー：2回/年</li> <li>中小企業支援機関連絡会議：4回/年</li> <li>専門家派遣：20社（25日）/年、地域プラットフォーム連携会議：4回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者への円滑な資金調達の支援と質の高い経営支援</li> <li>中小企業支援に係る関係機関との連携を深め、ネットワーク体制を構築することによる支援メニューの有効活用の促進</li> <li>女性起業家などによる創業の拡大</li> </ul>
	商圏分析事業【財団自主事業】	253	<ul style="list-style-type: none"> <li>商圏分析（出店くん）：61件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商圏分析の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商圏分析システムデータの充実による分析精度の高い情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商圏分析（出店くん）：150件/年</li> </ul>	
	若年層雇用安定助成金受付窓口事業【札幌市受託事業】	972	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層雇用：132名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金を活用した若年求職者の雇用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年求職者の就業促進のための助成金申請受付及び定着支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層雇用：200名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年求職者の雇用促進及び拡大</li> </ul>
	中央卸売市場仲卸経営支援事業	285	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別経営相談4社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業診断士による経営相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年度をもって事業廃止</li> </ul>		
	元気ショップ調査業務事業	774	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ整理及び報告書作成：報告書一冊 デジタルデータ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気ショップを大流通拠点地下広場の民間テナント予定部分に移転させた場合の影響を調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年度をもって業務終了</li> </ul>		
	女性起業家育成事業【札幌市受託事業】	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性中小企業診断士による女性向け起業前・起業後の経営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口52日/年</li> </ul>	

所管	事業名	支出決算額(千円)	平成25年度		平成26年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
			事業実績	課題	事業計画	事業目標	
エレクトロニクスセンター		350,025					
	エレクトロニクスセンター管理運営事業【札幌市受託事業】	67,681	・年度末入居率38.6% (技術開発室)	・利用者ニーズを把握した上でのサービス提供 ・技術開発室B(ウェットラボ)入居企業の誘致 ・大規模修繕に伴う入居者との調整等	・会議室等利用促進のためのPR ・技術開発室入居率向上のための誘致活動	・会議室年間利用率:37% ・技術開発室年度末入居率:50%超	・エレクトロニクスセンター会議室の利用率の向上 ・エレクトロニクスセンター技術開発室の入居率の向上
	技術開発室支援事業【財団自主事業】	27,204					
	札幌テクノパーク・リノベーション推進事業	209,850	・ウェットラボ改修工事の完了	・食・バイオ関連企業の入居促進	—	—	—
	SaaS・クラウド活用促進事業【財団自主事業】	4,142	・公的実験向けクラウド基盤提供:2件 ・公的サービス向けクラウド基盤提供:2件 ・市内IT企業向けテスト環境提供等:2件 ・市内IT企業向け実践的セミナーの開催:8件	・次世代の新技术に係る情報収集と、市内IT企業への迅速な展開 ・公共クラウド基盤のスムーズなクロージング(H27年度当初にサービス停止予定)	・公共クラウドサービス基盤の継続的提供 ・クラウドサービス等の最新技術に係る人材の育成	クラウドサービス等の最新技術に係る実践的な研修の実施:8件	・クラウド時代の次世代を担う新技术・新サービスの人材育成に資する機能の提供
	IT企業高度化推進事業【札幌市補助事業】	22,286	・基幹システム開発者向けの研修:延べ170名 ・上記研修参加の市内企業による市基幹システム開発業務受注実績 受注件数:5件、受注企業数:延べ7社 受注額:約1,466百万円 ・自治体向け包括フレームワークセミナー:8自治体参加 ・イベント集客:延べ649名 (札幌クラウドセミナー、Javaフェスタ、SaaS・クラウドビジネス研究会) ・最新の開発技術に関する研修参加者:延べ209名	・新技术を活用し、時代のニーズを踏まえたビジネスをデザインできる高度な人材の育成 ・より実践的な技術研修の実施	・最新技術に係る普及・啓発セミナー・イベント開催 (札幌ITイノベーション研究会、devsApp[デブサップ、Developers Sapporo]等) ・スマホ・タブレット用アプリの開発等、最新の開発技術に関する研修の定期的な開催	・イベント集客:延べ500名/年 ・最新技術研修参加者:延べ200名	・市内IT企業が、札幌発となる多数の新製品・新サービスを創出 ・最新の技術・サービスを提供する経営者・技術者のコミュニティの形成
	IT活用ビジネス拡大事業【札幌市補助事業】	17,837	・リーディング・カンパニーの候補となる地場IT企業:8社を選定 ・企画提案型営業力強化研修会:延べ12回126名受講 ・マッチング交流会:延べ3回IT13社 ユーザ45社参加 ・IT活用ユーザ企業を掘り起こす啓蒙・普及セミナー、事例紹介 延べ3回239名参加 ・IT活用促進事業費補助金:5件採択(応募27件) ・ITバイオ連携促進:交流会・セミナー参加67名 ・バイオ企業2社の視察会:IT企業10社13名参加 ・IT×バイオ連携マッチング:IT6社 バイオ1社参加	・企画提案型営業力強化研修会の参加者の増加 ・セミナーやマッチングの結果のフォローアップ、IT活用ユーザ企業が、IT化戦略投資をする決断に至るまでの結び付け(ITコーディネーターの活用等) ・ITバイオ連携促進のためのコーディネート力の強化	・IT活用ユーザ企業、他産業向けIT活用拡大の啓蒙・普及セミナーを開催 ・企画提案型営業力強化研修会の継続開講 ・IT活用の促進のためのユーザ企業向け戦略的ITシステム開発費の補助	・IT活用ユーザ企業向け啓蒙普及セミナー 参加者:400人 ・企画提案型営業力強化研修会の受講 延べ:20社、200人 ・マッチング 2回実施 ・戦略的ITシステム開発費の補助 @2,000千円×5件	・他産業でのIT活用の好例や、今後のモデルケースとなるような戦略的IT化投資やビジネスモデル革新の事例の創出 ・IT業界全体のリーディング・カンパニーとなる札幌市内IT企業の育成
	ITビジネスプランコンテスト事業【札幌市補助事業】	1,025	・製品化補助事業を1件採択(コンテスト自体は札幌市が実施したことから、当財団では製品化補助事業のみ実施)	・学生のアイデアの質の向上 ・参加学生数の増加 ・アイデアを具体化するIT企業の発掘	・コンテストは財団主催に変更。公開プレゼンテーション等による審査会の開催。	・コンテスト参加者:80人	・デジタルネイティブと呼ばれる若い世代が情報関連産業で活躍 ・情報関連産業に資する人材の育成
	IT×バイオ連携推進事業【札幌市補助事業】	—	—	—	・バイオ分野でのIT活用の先端事例、成功事例、業務改善の事例を紹介・啓蒙する「IT×バイオセミナー」の開催。 ・IT企業とバイオ企業とのマッチングを促す為の、視察前の事前勉強会、バイオ企業の現地研修会(視察)、訪問後のフォローアップとしての提案・交流会(マッチング)の開催。	・「IT×バイオ・セミナー」1回開催 80名程度 ・バイオ勉強会1回、現地研修会(視察)と提案・交流会(マッチング):各2回開催	・市内IT企業とバイオ関連企業の連携促進により、バイオ関連企業の業務効率を上げるIT活用の活発化、及びモデルケースの創出 ・機能性食品となりうる新素材の発掘等における、IT企業とバイオ関連企業による共同研究の開始
インタークロスクリエイティブセンター(ICC)		234,572					
	ICC施設管理運営事業【札幌市受託事業】	45,134	・ICCオープンイベント来場者:170名 ・クロスガーデン利用者数:月平均262名 ・プロジェクト登録数:41プロジェクト ・クリエイティブワークショップ3回開催:延116名 ・プロジェクトミーティング(3回):延179名 ・プロジェクトイベント(28回):延1183名 ・共催イベント(20回開催):延663名 ・コンテンツ産業と他産業協業促進イベント2回開催:148名 ・クリエイティブルーム入居率:80% ・ホームページアクセス数:28万アクセス/年	・有効なプロジェクトの集積 ・登録プロジェクトのビジネス化促進 ・プロジェクト間の情報交換および融合 ・協業によるモデルケースの創造	・1階コワーキングスペース(クロスガーデン)の利用促進 ・クロスガーデンメンバーからのプロジェクト登録促進のためのワークショップ ・HP、ウェブでの広報活動	・クロスガーデン利用者数:月平均300名 ・プロジェクト登録数:60プロジェクト ・クリエイティブルーム入居率85% ・ホームページアクセス数:30万アクセス/年	・クリエイティブルームの入居率向上 ・クロスガーデンメンバー、プロジェクトメンバーの利用促進 ・SNSと連動したホームページの運用
	コンテンツ産業振興事業【札幌市補助事業】	—	—	—	・登録プロジェクトのビジネス化促進のためのコンサルティング ・クリエイターのビジネススキル向上を目的としたセミナーの開催 ・プロジェクトミーティングの開催 ・コンテンツ産業と他産業との協業によるビジネスモデルの構築 ・市内クリエイターと他産業事業者とのマッチング ・デザイン、映像、音楽等の制作者に対するセミナーの開催 ・ICCサイト内で視聴を可能とするシステムを導入	・クリエイティブワークショップ2回開催:延80名 ・プロジェクトミーティング月1回開催:延400名 ・共催イベント(24回開催):延1000名 ・コンサルティング件数:延20件 ・クリエイター向けビジネス講座:1回開催:40名 ・コンテンツ産業と他産業協業促進イベント3回開催:延90人 ・コンテンツ産業と他産業との協業による事業創出3件 ・登録プロジェクトからの事業創出3件 ・デザイン活用啓発セミナー:延90人 ・クリエイターの情報発信を支援しビジネスチャンス創出する	・札幌のコンテンツ産業の振興拠点となる各種事業の実施 ・ICCを拠点とする高い競争力を持つ札幌のコンテンツ産業の確立 ・国際的な市場開拓のためのネットワーク形成
	コンテンツ人材育成事業【札幌市補助事業】	19,710	・デジタル工房稼働率53% ・ムービースケッチ事業による映像制作:3本 ・クロスガーデンオンライン事業による番組制作:2本	・デジタル工房利用者の確保 ・観光産業等、他産業への活用 ・動画配信による視聴者確保	・デジタル工房利用促進に向け、レンタルニーズの高い機材の導入 ・市内の若手映像クリエイターによる札幌の観光資源をテーマとしたオリジナルのコンテンツの制作	・デジタル工房稼働率60% ・映像を通じた新たな観光資源の発掘 ・クリエイターの映像制作に関する企画力・制作力の向上	・デジタル工房稼働率の向上 ・札幌の観光資源の発掘とアーカイブ化 ・若手クリエイター等の映像制作技術の向上と人材育成
	さっぽろコンテンツマーケット創出事業【札幌市補助事業】	16,106	・さっぽろコンテンツマーケット支援システムを札幌国際短編映画祭支援システムへと改修	・札幌国際短編映画祭支援システムの利便性の向上、安定的な運用	・札幌国際短編映画祭支援システムの管理	・札幌国際短編映画祭支援システムの安定稼働	・札幌国際短編映画祭の円滑な運営の支援
	コンテンツ特区推進事業【札幌市受託事業】	82,747	・国際共同制作案件コーディネート 3件 ・特区通訳案内士制度の創設	・国際共同制作の促進 ・札幌・北海道の映像コンテンツの販路拡大 ・市内事業者の映像プロモーションに対する意識の醸成	・特区推進組織の運営 ・国際共同制作促進のためのフィルムコミッション事業の実施 ・札幌・北海道の映像コンテンツの海外映像見本市への出展 ・海外の映像制作者のためのロケーション映像ガイドの作成	・コンテンツ特区の取組の的確な推進 ・国際共同制作案件の推進 3件 ・特区通訳案内士の適切な活用 ・リエゾンオフィサー制度の創出 ・フィルムコミッション事業担当者の配置	・映像産業の振興 ・映像のプロモーション効果を活かした観光客の誘致や道産品の海外輸出など、多様な産業への波及効果を産み出すことによる地域全体の活性化 ・国内他地域との連携した地域発コンテンツの海外発信促進
	コンテンツ産業強化対策支援事業【国受託事業】	70,875	・国際共同制作に係るワークショップの実施 アジア13カ国と1地域から25名の若手映像制作者が参加 ・香港フィルムマーケットへの出展 北海道を含む12道府県のコンテンツホルダー45団体との共同出展	・映像を活用した地域の魅力発信のための場づくり ・地域発コンテンツの販路拡大	・道内外の自治体と連携して海外メディアに各地域の魅力をアピールし、国際共同制作の創出を目的とした企画マーケットの実施 ・北海道内外の映像関係者等と海外映像事業者が参加し、映像コンテンツの流通、発信、共同制作に関する国際商談会を札幌市内で実施 ・国内各地で事前説明を実施することで、地域発コンテンツの発展に積極的に取り組んでいる自治体・映像関係者との協働体制を構築し、地域発コンテンツの海外発信の場として当該商談会を開催	・企画マーケットの実施 海外メディア 5カ国程度を招聘 ・国内外映像事業者等による、事業や取組、放映に関する手段や条件、撮影資源等についてのプレゼンテーションを行う国際共同制作に特化した企画マーケットを実施 ・海外と国内地域の映像事業者等の商談会を行い、海外と地域の国際共同制作・流通を促進 海外バイヤー 30名程度を招聘	・地域発コンテンツの海外発信を促進させるための組織体制の構築等フォローアップ体制確立

【資金収支決算(事業別対比)】 (法人会計配賦前)

項 目	収 入 ①	支 出 ②	収支差 ①－②
産業企画推進室事業	90,982,325	89,416,273	1,566,052
中小企業支援センター事業	40,684,550	37,577,440	3,107,110
エレクトロニクスセンター事業	365,015,929	350,024,693	14,991,236
インタークロス・クリエイティブ・センター事業	243,447,862	234,572,000	8,875,862
管理費	39,379,032	73,198,159	△ 33,819,127
ファンド出資預り金収入	249,063		249,063
ファンド分配金収入	62,647,379		62,647,379
その他 (基本財産・特定資産利息、雑収入、雑支出、法人税等、他)	2,680,554	235,642	2,444,912
計 (当期収支差額)	845,086,694	785,024,207	60,062,487
前期繰越収支差額			79,767,113
次期繰越収支差額			139,829,600

- ・ 補助金収入は各事業の収入に含めて表している。
- ・ 固定資産取得支出、リース債務支払支出、事業主年金等共済積立金支出は、各事業の支出に含めて表している。
- ・ 受入保証金の収入、引当資産取得支出、引当資産取崩収入、返還支出は、収入と支出の額が同額となり収支差額に影響を与えないため、省略している。